

県社協理事会を開催～新評議員選任される～

10月12日(火)、ホテル熊本テルサで第2回県社協理事会を開催し、次の議案が承認されました。

- (1)理事・評議員選出規程の一部改正について
- (2)定款第21条第3項に定める委員会に関する規程の一部改正について
- (3)評議員の選任に伴う同意について

なお、選任された33名の評議員は次のとおりです。

[任期]平成22年11月1日～平成24年10月31日

<敬称略、太文字は新任>

氏名	主たる役職名	氏名	主たる役職名
瀧下子ズノ	県民生委員児童委員協議会 副会長	王丸 道夫	県精神保健福祉協会 専務理事
光永 令昭	県民生委員児童委員協議会 副会長	林田 協子	県精神障害者福祉会連合会 専務理事
上村 宏洸	県養護協議会 会長	横山加奈子	県ボランティア連絡協議会 理事
岩本 浩治	県授産施設協議会 会長	岩田 昌代	県ホームヘルパー協議会 会長
三浦 貴子	県身体障害児者施設協議会 会長	酒井 欽司	熊本善意銀行 専務理事
楢村 善和	県日本赤十字社熊本県支部 事務局長	宮田 政道	県国民健康保険団体連合会 常務理事
岩見 照也	県里親協議会 会長	甲斐 國英	県社会福祉士会 会長
林 朝通	県共同募金会 常務理事	石本 淳也	県介護福祉士会 会長
藤本 和彦	県救護施設協議会 会長	平本 博子	県母子寡婦福祉連合会 理事長
山田 和彦	県老人保健施設協議会 会長	竹田 勉	県身体障害者福祉団体連合会 常務理事
福本 壮一	県市町村社協連合会 幹事長	加來 留	県介護支援専門員協会 会長
尾田 一広	県市町村社協連合会 副幹事長	山野 陽一	熊本経済同友会 事務局長
吉田 勝也	県健康福祉部 健康福祉政策課長	加藤 友信	テレビ熊本 取締役
児玉 修	県宇城地域振興局 保健福祉環境部長	井上 稔彦	熊本日日新聞社 論説委員
荒木 豊	県老人クラブ連合会 常務理事	和田 要	熊本学園大学 社会福祉学部 教授
真開 純雄	熊本さわやか長寿財団 常務理事	山下利恵子	熊本大学 教育学部 講師
高嶋和歌子	県看護協会 会長		

11月は「ボランティア月間」～めざせ！ボランティア活動日本一～

今年も「ボランティア月間」がスタートしました。

昭和55年11月、人と人とのふれあう豊かな地域社会づくりを目指して、ボランティア活動への理解と参加を呼びかけようと「ボランティアの町、うるおいの町」をキャッチフレーズに「くまもとボランティア週間」(現「くまもと市民ボランティア週間」)が熊本市で始まりまし。昭和58年には、その趣旨に賛同し、市町村社協を中心に県内全域で取り組まれることとなりました。平成元年には、市町村社協等の要望により実施期間が延長され、11月を「ボランティア月間」と定めて現在に至っています。

本年も32の市町村において、社協をはじめとする119の機関・団体で130ものボランティア活動に関する行事や事業が展開されています。(詳しい実施内容については、本会ホームページをご覧ください。)

本会では、恒例の啓発用ポスターの作成配付やパブリシティ活動(報道機関への啓発行事等の周知活動)のほか、『11月はボランティア月間』と『めざせ！ボランティア活動日本一』と記した「のぼり旗」のセットを製作し各市町村社協に無償配布するなどの啓発に努めています。



「第5回火の国ボランティアフェスティバル阿蘇」～会場は「笑い」と「涙」の渦に！～

10月23日(土)・24日(日)の両日、「第5回火の国ボランティアフェスティバル阿蘇」が、阿蘇市で開催され、2日間で延べ約2千人の県内のボランティアや福祉関係者等が参集しました。阿蘇体育館での式典では、実行委員会会長の佐藤義興阿蘇市長と潮谷愛一県ボランティア連絡協議会会長の挨拶の後、「手をつなぎ助け合う その輪は おおきな外輪山」というキャッチフレーズを応募し採用された南阿蘇村立久木野中学校の山崎夏海さんに佐藤会長から「採用賞」が贈られました。



【福祉劇に出演した「やまびこ劇団」】

記念講演では、「ボランティアが熊本を元気にする」と題してタレントの長船なお美氏が、熊本弁を交えた元気の出るトークで笑いも誘いながら、ボランティア活動も積み重ねが大切などと話されました。分科会では、「福祉」「環境」「地域おこし」「子育て・学校ボランティア」の4つのテーマに分かれ、阿蘇地域ならではのボランティア活動や地域福祉活動の取り組みが紹介され、熱心な意見交換や情報交換が行われました。交流会では、270人も参加に阿蘇市長が応援団長さんながらのエールをおられるなど大盛況となりました。

最終日は、阿蘇管内の社協職員などがメンバーとなっている「阿蘇やまびこ劇団」が、認知症のある人への地域の住民支援のあり方を描いた福祉劇を熱演し、会場全体が笑い涙の渦に巻き込まれていました。劇終了後、次期(平成24年度)開催地の荒尾・玉名ブロックに大会旗が引き継がれ、フェスタは盛会裏のうちに全日程を終えました。

介護支援専門員実務研修受講試験に2,655人が受験



【試験の様子】

10月24日(日)、熊本学園大学で「介護支援専門員実務研修受講試験」を実施しました。今年度は2,882人の受験申込みがあり、2,655人が受験しました。(平成21年度の受験者数：2,515人)

合格発表は、12月10日(金)午前10時から、熊本県総合福祉センター1階ロビー、県庁本館1階ロビー、県地域振興局、県水俣保健所、熊本市役所に合格者の受験番号を掲示するとともに、全受験者に結果を合否通知書でお知らせします。併せて、本会ホームページにも12時頃に掲載する予定です。

また、合格者を対象とした「介護支援専門員実務研修」を平成23年1月から3月にかけての7日間の日程で実施し、受講修了者は介護支援専門員として登録のうえ、実働できることとなります。

社会福祉振興基金運営委員委嘱される

熊本県社会福祉振興基金運営委員会委員に次の方々が就任されました。任期：平成22年10月1日～平成24年9月30日

氏名	役職名	新・再	氏名	役職名	新・再
柳田 紀代子	県健康福祉部 福祉のまちづくり室長	再	吉村 次郎	熊本市社会福祉協議会 常務理事	新
福田 栄拓	県市長会事務局長	再	萩嶺 浄円	県ボランティア連絡協議会 副会長	再
正木 嵩	県町村会事務局長	再	和田 要	熊本学園大学 社会福祉学部教授	再
林 朝通	県共同募金会 常務理事	新	酒井 欽司	熊本善意銀行 専務理事	再
荒木 豊	県老人クラブ連合会 常務理事	再	原田 正一	県社会福祉協議会 常務理事	再

福田令寿人材育成基金事業のご案内～社会福祉士・精神保健福祉士～

県社協の福田令寿人材育成基金では、県内の民間社会福祉事業に従事しながら、社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を取得しようとする職員に対して助成を行います。

助成対象事業	社会福祉士一般養成施設平成23年度入学の通信課程受講	精神保健福祉士一般養成施設平成23年度入学の通信課程受講
助成対象者	ア 社会福祉士及び介護福祉士法第7条第3号、第6号、第10号、第11号に該当する一般養成施設等(1年以上)の受講対象であること イ 平成23年度社会福祉士通信課程に入学し、終了後に実施される最初の国家試験を受験すること ウ 現在県内の民間社会福祉事業の職場に勤務中であること	ア 精神保健福祉士法第7条第3号、第6号、第9号、第10号に該当する一般養成施設等(1年以上)の受講対象であること イ 平成23年度精神保健福祉士通信課程に入学し、終了後に実施される最初の国家試験を受験すること ウ 現在県内の民間社会福祉事業の職場に勤務中であること
助成金額	1人当たり10万円(7人まで)	
応募期間	平成22年11月1日(月)～平成22年12月24日(金)	

※詳しくは県社協ホームページをご覧ください。

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆理事会・評議員会ご案内◆ 県社協理事会・評議員会を次のとおり開催します。 【第2回評議員会】 日 時：11月11日(木) 11:00開会 会 場：県総合福祉センター5階 研修ホール 【第3回理事会】 日 時：11月24日(水) 11:00開会 会 場：県総合福祉センター3階 第3会議室</p>	<p>◆2011年版社会福祉手帳注文受付中◆ 購入を希望される方は所定の申込書をファックスするか、お電話ください。 価 格：1冊600円(税込み) 送 料：4冊以下の注文の場合は300円、5冊以上注文の場合は無料。 資料篇：社会福祉法等の法令、県関係機関、県内の福祉関係名簿、市町村別人口等一覧など豊富な資料を掲載しています。 ※申込書は、本会HPからダウンロードできます。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆福祉経営相談室をご活用ください◆ 社会福祉法人や社会福祉施設を経営する中で様々な課題や問題が起こることがあります。「もっと詳しく知りたい」「すぐに結論がでない」「最終的に法人経営者が取り組むしかない…」など、このような案件に対して、専門相談員(3名)が専門家の立場から適切な助言をいたします。 秘密は厳守し、無料です。どうぞお気軽にご相談ください。 【来所相談日】※予約が必要です。 ○社会保険労務士 第1月曜 13:30~16:00 ○公認会計士 第2火曜 〃 ○弁 護 士 第3火曜 〃</p>	<p>◆教育支援資金就学支度費受付のご案内◆ 来年度に入学を予定されている方の就学の際に必要な支度費用の申込みについては、次のとおりの取扱いとなりますのでお知らせします。 受付期間：受付中(締切：3月15日本会必着) 要 件：本資金の申込みと併せて、日本学生支援機構等奨学金を申込みこと。 そ の 他：合否結果が判明していない場合は、合格通知の代わりに受験票でも申込み可能。 ※ 教育支援費の申込みは2月1日から受け付けます。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆福祉の就職総合フェア2010のご案内◆ 福祉・保健・医療の関係事業所と福祉の職場への就職を希望する方々が一同に会し、求人事業者・求職者の面接の機会を提供することで、求人の早期充足と求職者の就労促進を図ることを目的として開催します。 記 日 時：11月15日(月) 14:00~16:00 会 場：熊本全日空ホテルニュースカイ2階「玉樹」 事業所：社会福祉施設、病(医)院、老人保健施設など45事業所 ※詳細は福祉人材・研修センターにお尋ねください。</p>	<p>◆生活支援員の養成について◆ 地域福祉権利擁護事業における利用者への直接の援助の要は、地域に密着し、利用者の生活に寄り添いながら活動する地域の生活支援員の皆さんです。しかし、地域住民等による協力者がなかなか見つからず、社協職員が兼務で対応しているケースが増えています。 このようなことから、市町村社協によっては、養成講座の受講者を公募し、修了者で希望する方を登録する方法をとっているところもあります。本会でも、ブロック単位での生活支援員養成講座等の開催を支援しますので、お気軽にご相談ください。</p>
ボランティアセンター	福祉サービス評価センター
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456
<p>◆ワークキャンプ事業の報告◆ 本年の夏休み期間中に、県内の40市町村社協で実施されたワークキャンプ事業には、小学生から社会人に至るまで、約3,300人もの方々が参加されました。 なかでも、南小国町社協と小国町社協が共催して実施した『2010チャレンジ小国GO!』では、小国高校の生徒が熊本市内のホームレスへの支援活動を体験し、その様子は熊日新聞にも大きく掲載されました。 これからも福祉教育の推進や啓発に積極的な取り組みをよろしくお願いいたします。</p>	<p>◆第三者評価調査者継続研修に調査員を派遣◆ 福祉サービス第三者評価事業の評価調査者(調査員)に対し、評価の継続的实施に必要な知識の修得と資質の向上を図ることを目的とした標記研修が県において開催されます。 本会の調査員も積極的に参加させ、個々のスキルアップを図り、事業の公正性と公平性の確保に努めます。 期 日：平成22年12月9日(木)、同13日(月) 内 容：評価調査者の倫理、第三者評価事業に関する指針 第三者評価基準の理解と判断のポイント コミュニケーション技術の修得 など</p>